

「グリ下応援団」の趣旨・目的・方向性

【1. 趣旨・目的】 7/18 知事・市長・警察・地元商店会による意見交換会

知事発言「グリ下へ取り組む目的は3つ」

①若者を犯罪の加害者にも被害者にもさせない ②大阪の街の顔、道頓堀とグリコ看板下を健全で安心な街にする

③若者達一人ひとりが個別に抱える課題を表面だけでなく背景まで捉えて対応する

→グリ下専門の就労支援窓口設置を表明、グリ下実務者会議の開催を指示

市長発言「グリ下の照度を上げて明るい場所にする」「民間活力による若者への様々な支援は効果的」

・府市連携・官民連携による

「それぞれの役割が有機的に絡み合い連動してグリ下の状況改善に向けて取り組む体制づくり」

「それぞれの対応状況や現状等の情報共有を行い効果的に取組を実施できる体制づくり」

【2. 方向性】

<目標とするゴール設定(ベクトルの共有)>

・「グリ下」が、「危険な場所」「課題のある若者が集まる場所」でなくなる

・現在グリ下に集まっている若者が、安全な環境で安心して生活できるようになる

